

会 議 録

(5-1)

会議の名称		第2回春日部市障害者計画等審議会	
開催日時	令和5年9月29日(金)	開 会	午後1時30分
		閉 会	午後2時30分
開催場所		春日部市役所 全員協議会室	
議長(会長等)氏名		小澤 昭彦	
出席者	委員氏名	(出席人数：17人) 会長 小澤 昭彦、八木原 みき、	
		細井 道栄、松本 久男、武笠 美幸、佐藤 正幸、清水 雄幸、	
		遠藤 賢、羽鳥 一子、寺嶋 祐人、松村 真理子、篠江 正則、	
出席者	事務局	(出席人数：5人) 福祉部長 戸張 昌代	
		障がい者支援課長 内藤 道夫	
		障がい者支援担当主幹 榎本 雅明、相澤 寿昭	
出席者	事務局	障がい者支援担当主査 清水 亜由美	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		(1) 第7期春日部市障害福祉計画の案について（公開） (2) その他（公開）	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		(1) 資料1：第7期春日部市障害福祉計画（案） (2) 資料2：第2回春日部市自立支援協議会会議録 (3) 資料3：第2回庁内検討委員会障害福祉計画〔素案〕修正等回答票	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		八木原 みき 委員	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【開会】
会 長	【会長あいさつ】
市 長	【市長あいさつ】
	【審議会への諮問】
事務局	【会議成立の報告：委員18人中17人出席】
	【議長選任】
	春日部市障害者計画等審議会条例第5条第2項の規定に基づき、小澤
	会長が議長となる。
議 長	【議事録署名人の選任：八木原 みき 委員】
	【会議公開の宣言】
	【傍聴人の有無について確認】
	【傍聴人：0人】
	【議事（1）第7期春日部市障害福祉計画の案について】
	【事務局に説明を求める】
	【資料1、資料2及び資料3に基づき説明する】
議 長	【委員に意見及び質問等を求める】
委 員	計画案の33ページに自立生活援助事務所と記述されているが、自立
	生活援助事業所が正しいのではないかと。
事務局	事業所が正しいため訂正する。
委 員	また、58ページの地域活動支援センター機能強化事業の現状と課題
	について、Ⅲ型事業所の実績が見込みより下回っている、と書かれて
	いるが、これは令和3年度に地域活動支援センターから障害福祉サービ
	ス等事業所に移行した事業所があったため、実質的な利用者数の変動
	はない。そのことが分かるように記載して欲しい。
事務局	説明について、記載する。
委 員	事業所にアンケート調査をしたと書いているが、計画のどこに反映され
	ているのか。また、移動支援について、利用者から通所施設等への送迎
	へのニーズがあるが、計画案では実績に基づき時間数が減らされている。
	アンケートに対し、市の考えを書いてもらえると、例えば学校や通所
	施設への送迎については相談してください、といった追記をしてもらえ
	るといいのではないかと。
事務局	アンケートの結果については、数値を見込む際に反映させるよう担当者
	に指示した。具体的には、コロナ禍で実績が上がっていない事業について、
	国や県の指針に対し、削らず、なるべく上乗せするためにアンケートの要望
	を加味して計算するようにした。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>コンサルタント会社に依頼した場合は、多様な手法で分析をして、今後の具体的な方向性を示せるのだろうが、分析ができる職員がいないため、今回は数値に反映、という形をとっている。</p> <p>次回の障害者計画策定の際には業者に依頼して、今回策定する計画や今後の3年間の実績、アンケート調査を踏まえた分析を行っていきたいと思っている。</p>
委 員	<p>18ページの重度訪問介護の利用者数について、知的や精神の方も使えるとなっているが、利用するにはかなりハードルが高いため、生活の場の選択肢が限られているというのが実情ではないかと思う。なるべく知的・精神の方にもこの制度を使えるようにして欲しいのだが、実利用者数の中に知的・精神障がいの方はどのくらい含まれているのか。</p> <p>また、38ページの発達障害関連の部分で、ペアレントトレーニングやペアレントプログラム、ペアレントメンターといった言葉が記載されているが、用語の解説を加えた方が分かりやすいのではないか。</p> <p>66ページの生活サポート事業について、登録事業所数が21か所とあるが、これは春日部市内で行っている事業所なのか教えて欲しい。</p>
事務局	<p>まず18ページの重度訪問介護について、この実利用者数は3障害すべての利用者の合計で、内訳については今手元に数字がない。</p> <p>重度訪問介護の利用対象者は障害者総合支援法の給付の基準のとおりのため、春日部市だけ変更するわけにはいかないが、基準が厳しいため使いにくいという意見はもっともだと思う。埼玉県を通じて意見をあげていくようにする。</p> <p>続いて、38ページに記載されている用語の説明について、例えばペアレントトレーニングであれば106ページなど、後ろに小さいアスタリスクがついている単語はすべて用語の解説を掲載している。</p> <p>66ページの事業所は市内の事業所です。</p>
委 員	<p>34ページの相談支援の現状と課題で、令和4年度の実績値が計画値を上回っており、需要の増加があるということと、現時点では、サービス利用者がセルフプランを作成することもあると書かれている。</p> <p>今後の方向性では、令和8年は2,754人の利用を見込んでおり、35ページの見込み量の下にセルフプランを除いた数と書かれている。</p> <p>担当者から、セルフプランを作成している方が多いと聞いているが、その状況で2,754人をセルフプランを除いた数で、というのは難しいと思うのだが、どのように考えているのか。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>本市のセルフプラン率は県内でも高い。セルフプランをなるべく少なくしていきたいというのが我々の目標とするところだが、現状セルフプランを全て無くしてしまうと相談支援事業所も新規の引き受けができない状況のため、サービスが受けにくくなってしまいうので、セルフプラン作成を必要としている事情がある。</p> <p>委託相談支援事業所からも今後どうしていくか、という話が出ている。ただ、県の指針でセルフプランを含めないというところもあるため、計画書としては実際の数の中から類型を出したところである。</p>
議 長	<p>65ページの子どもの発達支援巡回事業の1行目、発達障害等に関する知識を有する専門員（臨床心理士等）の表記について。間違いではないが、令和4年6月から公認心理士法が施行されたので民間の認定資格である臨床心理士より、国家資格である公認心理士に表記を改めた方が良いのではないか。</p>
事務局	<p>改める。ただ、公認心理士の資格保有者はどのくらいいるのか、公認心理士、と限定してしまった場合、市内に有資格者がいない、ということになりかねないのではないか。</p>
委 員	<p>当事業所の保育所等訪問支援で雇用しているものには臨床心理士しかいない。公認心理士試験は受けなかった、という話を聞いている。</p>
事務局	<p>では、表記の際には上位資格である公認心理士に「等」をつけて臨床心理士も網羅するようにする。</p>
議 長	<p>そのようにお願いします。</p>
委 員	<p>73ページの策定体制の自立支援協議会の表記について、地域福祉連絡会と各部会の間、専門部会と追記した方が協議会の構成が分かりやすいのではないか。</p>
事務局	<p>他市の計画書の構成も確認しながら、読みやすくなるよう検討する。</p>
議 長	<p>【その他の連絡事項について】 【事務局に説明を求める】</p>
事務局	<p>【1. 国への中間報告が10月にあることについて報告】 【2. 計画書の印刷費について、12月の補正予算で要求することを報告】 【3. 計画書の表紙に使用する絵画を市内障害児通所事業所等に募集することを提案】</p>
議 長	<p>【3について委員に承認してよいか確認する】</p>
委 員	<p>【委員了承】</p>
事務局	<p>では、10月上旬から11月中旬に障がいのある児童の作品を募集し、集まった作品を次回の審議会で選定することとする。</p> <p>印刷費についてはこれから財政部局と協議があるが、表紙・裏表紙はカラーで印刷できる程度の予算を確保していきたい。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	計画書は何部印刷するのか。
事務局	250部を想定している。
委員	情報バリアフリーの観点から、計画書は冊子だけでなくホームページでも
	閲覧できるようにしてほしい。
事務局	了承した。12月のパブリックコメントの際にもホームページ等、障がいの
	ある方が見られるよう、分かるような形を取っていく。
事務局	【次回の審議会の日程等について説明する】
議長	【意見及び質問は無く全ての議事が終了】
委員	【閉会】
	会議終了

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和5年10月6日

署名者の職・氏名

春日部市障害者計画等審議会委員

八木原 みき